

16 ホオジロガモ

(カモ目)

Bucephala clangula

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:注 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパからシベリア、モンゴル北部、中国北東部、カムチャツカ、サハリン、アラスカ、カナダなどで繁殖し、繁殖後はヨーロッパからアジア、北アメリカの温帯域に渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、北海道、本州、四国、九州などで越冬する。海岸や河川、湖沼などに生息する。巧みに潜水して貝類や甲殻類などを採食する。小魚や水草なども食べる。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、飛島、舩倉島、佐渡、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、★伊丹市、★豊岡市、★加古川市、★赤穂市、三木市、★高砂市、★三田市、加西市、★養父市、★南あわじ市、★淡路市、★たつの市、★稲美町、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○									

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク外から要注目ランクに変更。

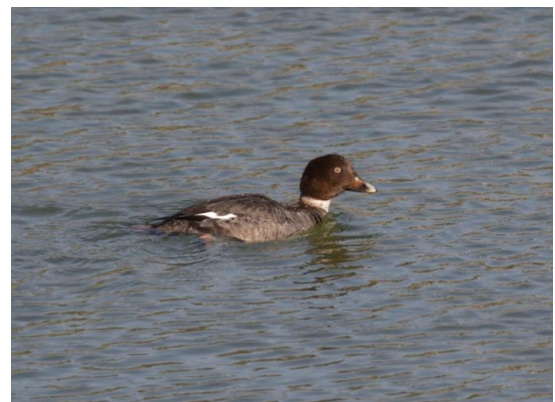
県内では主に11-翌3月に生息する。古くは瀬戸内海側に多く、1989年1月には西宮市甲子園浜で115羽の群れが観察されるなど、比較的大きな群れが越冬していた。近年は三田市のため池や但馬地域でも記録されるようになっていく。分布地域は増えているが、大きな群れが記録されることはなくなった。最近のガンカモ調査で記録される県全体の個体数は49羽が最大である。今後の動向に注目する必要があることから、要注目ランクとした。

保護上の留意点

現在生息している海岸や河川、ため池などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。



写真提供：鳥田陽子 (性別：オス)



写真提供：鳥田陽子 (性別：メス)